

視覚障がいのある方の情報取得のために大阪市役所ができること

ユニボイス 音声コード「Uni-Voice」の活用

大阪市では、お知らせ文書やパンフレットなどの紙媒体で市民生活に関わる多くの情報を発信しています。

でも、その情報が視覚障がいのある人に適切に伝わるよう配慮されていますか？

【令和6年2月29日市会本会議 横山市長】

視覚障がいをはじめとする障がいのある人の情報取得にかかる施策については…地方公共団体の責務として規定され、いっそうの推進が求められているところ。

それぞれの施策において、障がい理解に基づいた適切な配慮を行うことができるよう、取り組んでまいります。

音声コード「Uni-Voice」を活用すれば、スマートフォンを印刷物の二次元コードにかざすだけで文章を読み上げるようにできます。

(読み取りアプリは無料でダウンロード)



活用事例

大阪市での活用事例

- ・「障がいのある方へ福祉のあらし」
(障がい福祉制度照会冊子)
- ・「防ごう 障がい者虐待」
(虐待防止啓発リーフレット)

その他、全国では…
年金定期便や公共料金請求書など

音声コード「Uni-Voice」を活用した印刷物作成の流れ



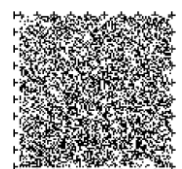
日本視覚障がい情報普及支援協会 (JAVIS) に申込み

音声コード「Uni-Voice」の活用についてのご相談は
大阪市福祉局障がい者施策部障がい福祉課

電話：06-6208-8071

メール：fa0025@city.osaka.lg.jp

Uni-Voice のコードです。スマホの専用アプリで読み取ると情報を音声で聴くことができます。



1 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法とは？

令和 4(2022)年 5 月 25 日、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が公布・施行されました。

この法律は、すべての障がい者が、あらゆる分野の活動に参加するためには、情報の十分な取得利用や円滑な意思疎通が極めて重要であることから、障がい者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策を総合的に推進し、共生社会の実現に資するために制定されました。

【基本理念】

- ・障がいの種類や程度に応じた手段を選択できるようにする。
- ・日常生活や社会生活を営んでいる地域にかかわらず等しく情報取得等ができるようにする。
- ・障がい者でない者と同一内容の情報を同一時点において取得できるようにする。
- ・高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用を通じて行う（デジタル社会）

2 音声コード Uni-Voice とは？

- ・印刷物の文字情報を二次元コードに変換したものです。
- ・特定非営利活動法人日本視覚障がい情報普及支援協会(JAVIS)が開発しました。
- ・スマートフォンや専用読み取り装置で読み取ることで情報を音声にすることができます。
- ・印刷物に音声コード Uni-Voice を貼付することで視覚障がい者や高齢者など、誰にでも情報を提供することが可能です。

3 音声コード Uni-Voice 使い方

- ・Step0 事前にスマートフォンに Uni-Voice 読み取りアプリ（無料）をインストールします。
- ・Step1 Uni-Voice 読み取りアプリを起動します。
- ・Step2 自動的にスキャン画面となり、「ピーピー」と音が鳴ります。
- ・Step3 切り欠きを頼りに、画面に音声コードを写します。
- ・Step4 シャッター音が鳴り、スマホが振動したら、認識完了。
- ・Step5 画面が切り替わり、自動的に音声流れます。

4 音声コード Uni-Voice を活用した印刷物の作り方

- ・Step0 （初回）日本視覚障がい情報普及支援協会（JAVIS）に申込み、作成ソフトを入手します。
自治体には作成ソフト（JAVIS APPLI）のライセンスを無償貸与可。（2回目以降は申込み不要）
（日本視覚障がい情報普及支援協会 <https://www.javis.jp/>）
作成ソフトをパソコンにインストールします。
- ・Step1 Word 文書をもとに作成ソフトを使い Uni-Voice 音声コードを作成します。
- ・Step2 読み上げ音声に間違いがないか確認します。
- ・Step3 印刷物発注・作成時に、音声コードを添付し、切り欠き、キャプションを入れます。
- ・Step4 完成